

# 平成29年度 環境施策について

【資料5】

## 環境施策の主な取り組みについて

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| ① A焼却施設の整備及び運営事業      | 資料:スライドNo.2     |
| ② リサイクルプラザ            | 資料:スライドNo.3     |
| ③ 高台避難公園整備(長沼穂保地区)    | 資料:スライドNo.4     |
| ④ PCB廃棄物の早期適正処理       | 資料:スライドNo.5     |
| ⑤ 大谷地湿原保全・再生事業        | 資料:スライドNo.6     |
| ⑥ 奥裾花自然園再生可能エネルギー活用事業 | 資料:スライドNo.7     |
| ⑦ 鬼無里の湯木質バイオマスボイラー事業  | 資料:スライドNo.8     |
| ⑧ 低炭素行動の促進            | 資料:スライドNo.8     |
| ⑨ 環境教育・環境学習の推進        | 資料:スライドNo.9、10  |
| ⑩ ながの環境パートナーシップ会議     | 資料:スライドNo.11、12 |

# ①A焼却施設の整備及び運営事業 【生活環境課】

2

## 【概要】

- 1 事業名称 (仮称)長野広域連合  
A焼却施設整備及び運営事業
- 2 建設地 長野市松岡二丁目
- 3 事業方式 公設民営(DBO)方式
- 4 建設事業者 代表企業:日立造船(株)東京本社  
構成企業:北野建設(株)
- 5 運営事業者 (株)EcoHitzながの
- 6 今後の予定 試運転開始:平成 30年10月から  
供用開始 :平成 31年3月から
- 7 施設概要

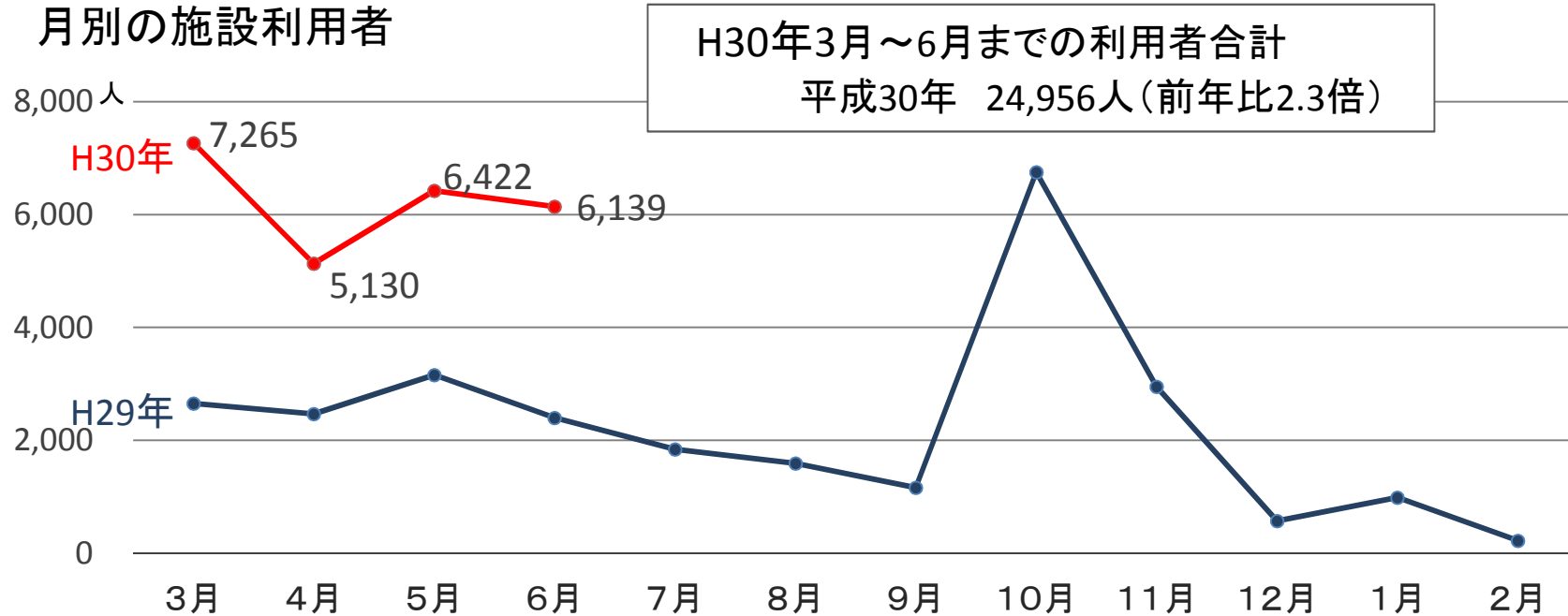


処理方式	ストーカ式焼却炉 + 電気式灰溶融炉
施設規模	焼却炉 405トン/日 (135トン/日×3炉) 灰溶融炉 22トン/日 (22トン/日×2炉 (1炉予備))
処理対象物	一般廃棄物 (可燃ごみ、可燃性粗大ごみ)、資源化施設から排出される可燃残さ及び不燃残さ
余熱利用の計画	高効率発電 (発電効率: 20.3%以上) 施設内外へ熱供給
敷地面積	約40,000平方メートル
運営期間	平成 31年 3月 1日から平成 51年 3月31日まで

## ②リサイクルプラザの利用状況【清掃センター】

3

### 1 月別の施設利用者



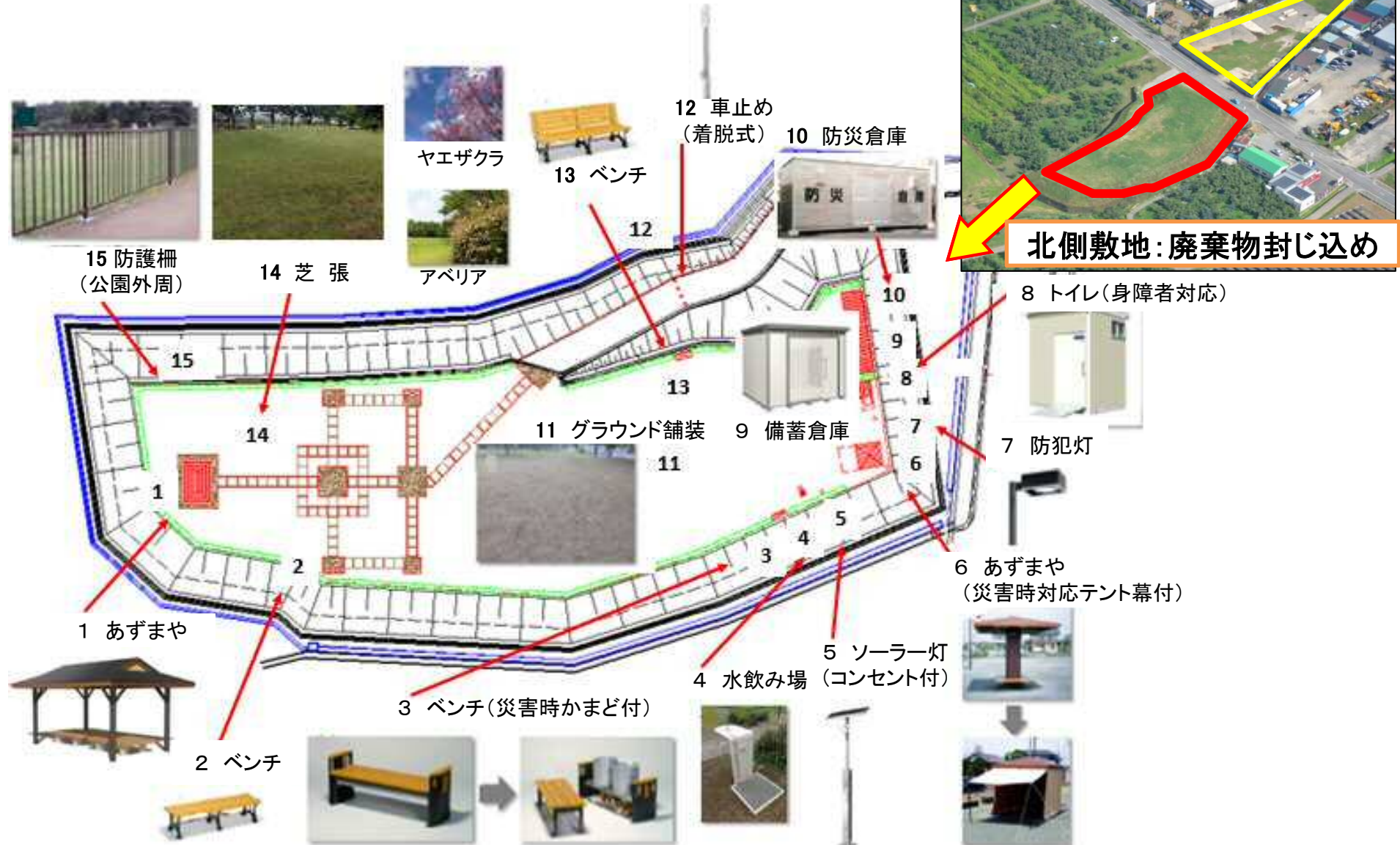
### 2 リサイクル広場の実施状況

H30年実施回数	4回(3、5、6、7月)	
抽選平均倍率	H30年 11.1倍	H29年 4.8倍 ←
売れ残り率	12.4%	56% ←



# ③高台避難公園整備(長沼穂保地区)【廃棄物対策課】

## 施設配置図



# ④PCB廃棄物の早期適正処理【廃棄物対策課】

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、高圧変圧器、高圧コンデンサー、安定器等の電気機器に含有され幅広く使用。昭和43年に「カネミ油症事件」が起こり、その毒性が社会問題化し、昭和47年以降は製造、新たな使用が原則禁止され、廃棄物等は処理期限までに確実にかつ適正な処理が必要。



変圧器



コンデンサー



安定器



種類 1
電気事業法に基づ (高濃度)PCB電気工作物 ※ 経済産業省所管
(高濃度)PCB使用製品

(PCB使用製品)  
 ①期限内に廃棄義務  
 ②期限までに廃棄されないものはPCB廃棄物とみなす

種類 2	
高濃度 PCB廃棄物 5,000mg/kg超	高圧変圧器 高圧コンデンサ PCB PCB含有油
	安定器 小型コンデンサ等 小型電気機器 感圧複写紙 ウエス 汚泥 他
低濃度PCB廃棄物 5,000mg/kg未満	

処分期間	処理施設
平成34年 3月31日	JESCO 中間貯蔵・ 環境安全 事業所 北海道・室蘭
平成35年 3月31日	
平成39年 3月31日	無害化処理 認定施設等

PCB特措法改正に伴う国の対応強化について (改正施行令:H28.8.1施行)

- (1) 高濃度PCB廃棄物の処分の義務付け
- (2) 報告徴収・立入検査権限の強化
- (3) 高濃度PCB廃棄物の処分に係る代執行

## ⑤大谷地湿原保全・再生事業 【環境保全温暖化対策課】

6

### リュウキンカやミズバショウが咲き誇るかつての大谷地湿原への復元

#### 【保全・再生事業の取組】

#### 1 協働による外来生物「キシヨウブ」の駆除作業等(平成24年度～)

- 飯綱高原観光協会と飯綱高原を美しくする会が主催、地元住民、環境省、長野市等の協働
- 飯綱高原観光協会が大谷地湿原木道脇のヨシ刈り取り作業



平成29年11月10日  
毎年2回（6月・9月）

#### 2 復元のための実験・調査(平成26年度～29年度)

- 湿原の現状調査及び復元実証実験を委託により実施
- 報告結果:湿原の乾燥化及び森林化が進み、対策を講じなければ、今後数十年で草地が完全に森林化する可能性がある。

#### 3 本市環境部・商工観光部職員によるヨシ刈り取り・搬出作業

作業期間:平成29年11月9日～平成30年1月12日の間の延べ10日

作業人員:市職員延べ146名

○草刈り機でヨシを根元から刈り取り、手作業で湿原外へ搬出

搬出したヨシ(搬出量8,270Kg)は全量バイオマス発電の原料として利用した。今後は、地区関係者など多くの市民参加による保全活動を検討していく。



平成30年4月27日

## ⑥奥裾花自然園再生可能エネルギー活用事業

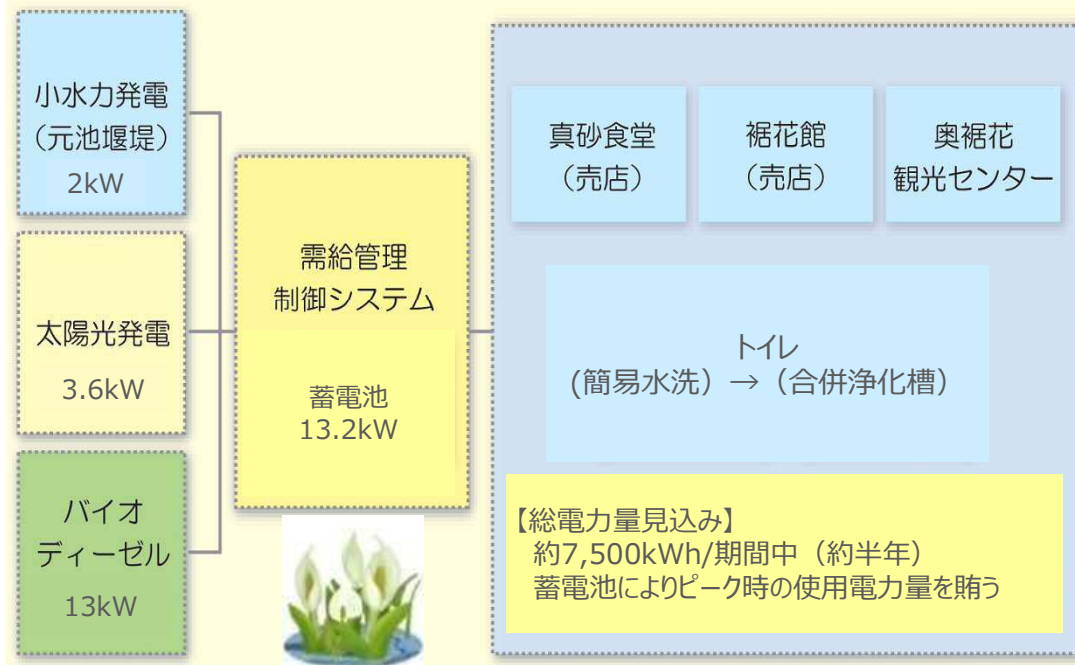
7

### 【観光振興課・環境保全温暖化対策課】

無電化地域である奥裾花自然園において、小水力、太陽光、バイオディーゼル燃料の3つの再生可能エネルギーによる発電設備と蓄電池を組み合わせ、一元的に電力の需給管理を行う設備を整備し、地球温暖化対策と併せて観光施設の機能向上を図る。

- ・平成29年度に太陽光発電及びバイオディーゼル設備、蓄電池設備の工事を完了した。  
（平成30年度～観光センター及びトイレへの電源供給を開始）
- ・平成30年度には小水力発電設備工事を実施し、10月に竣工の予定。
- ・平成31年度～売店2店舗を含めた全施設へ電源供給開始予定

### 【再生可能エネルギー活用安定電力供給モデル(マイクログリッド)】



#### ◆事業の効果

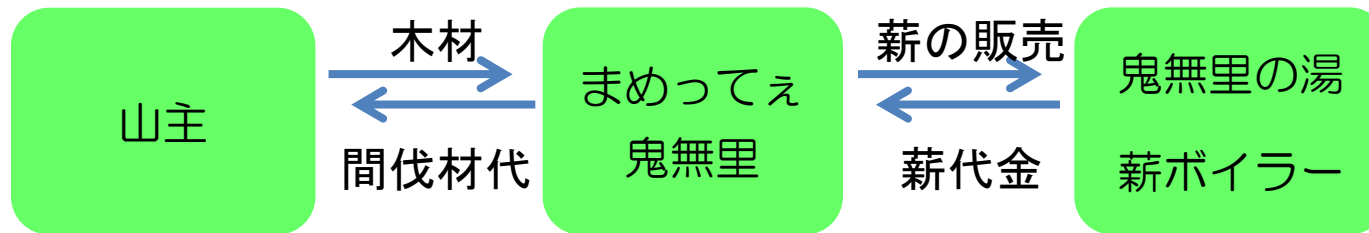
- ・安全性の確保  
電源確保、衛星電話の設置
- ・観光施設の利便性  
トイレに合併浄化槽を設置
- ・近隣地域との観光資源の差別化  
先進的事業、環境学習の場
- ・エネルギーの地産地消

## ⑦鬼無里の湯木質バイオマスボイラー整備事業

【観光振興課・環境保全温暖化対策課】

8

- ・年間約100tの二酸化炭素排出量を削減（化石燃料削減：約80t、間伐：約20t）
- ・年間約75tの薪の通年活用で、地域のNPOの活動を安定化
- ・地域事業者（まめってえ鬼無里）の雇用創出（間伐・薪製造）
- ・薪燃料代等が地域内で循環（+薪投入人件費）



## ⑧低炭素行動の促進 【環境保全温暖化対策課】

### ○長野市COOL CHOICE宣言（H29年4月11日）

地球温暖化防止行動をより一層促進するため、「COOL CHOICE」に賛同し、温室効果ガスの排出削減の取組を強化する旨を市長が宣言

### ○事業所向け温暖化対策啓発事業

事業所の自発的な温暖化対策への支援を行い、低炭素行動を促進

- ・事業所向け温暖化対策支援サイト「エコステップながの」を開設
- ・事業活動におけるCO2削減の手引き(パンフレット)作成・配布

COOL CHOICE(賢い選択)とは



国が推進する国民運動。日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品、サービス、行動など、地球温暖化対策に役立つあらゆる「賢い選択」を促す取組



# ⑨環境教育・環境学習の推進

## 【環境保全温暖化対策課・生活環境課】

9

### 小学生以上向け体験型環境学習会

市民や子どもたちが身近な自然に触れ、自然の豊かさや大切さなどを実感し、自分にできる方法で環境を守り、自然と共存しながら生活することについて、体験を通して学ぶ機会を提供するもの。

#### 【山の日ウォーキング】「スパイラルの森 森林散策と丸太切りに挑戦しよう」

開催日時：平成29年8月11日（金）「山の日（祝日）」

参加者数：120名

浅川地区にあるスパイラルの森の散策や丸太切り、木工クラフトの体験とジビエ料理を味わった。



#### 【自然エネルギー教室】「自然エネルギーってすごい！ スーパーソーラーカーをつくろう」

開催日時：平成29年11月25日（土）

参加者数：約180名

長野高専と連携。自然エネルギーについて学び、実際にソーラーカーを作って走らせたり、発電実験やペレットストーブの展示等を行った。



このほか、大谷地湿原での自然観察会や夏の水生生物調査を実施した。



幼少期から食べ物の大切さを知ってもらい、ごみ(生ごみ)の減量につなげるため、食べ残しを減らすことについて啓発。また、ごみの分け方や出し方及び処理について、基本的なルールを学習する。段ボール箱を使った生ごみの堆肥化をとおり、「いのちの循環」について学習する。

### 講座の概要

- ① 県教材「きゅうしょくだいすき」  
「食品ロスってなに？」を使った学習
- ② 市教材 電子紙芝居「ごみのおはなし」  
を使った学習
- ③ 分別クイズにチャレンジ（実践）
- ④ パッカー車（ごみ収集車）の見学
- ⑤ パネルシアター『ふしぎ？なまごみがきえた！』
- ⑥ 段ボールを使った生ごみの堆肥化の体験



実績 H29 保育園2園、小学校1校

## 第22回長野市環境こどもサミット

開催日時：平成29年10月22日（日）

参加者数：約200名 環境標語応募数：3,588人 3,742作品

テーマ：「もったいない」今の生活総点検 昔から学ぶ未来の姿

市制120周年に併せ、120年前から現在までの環境や生活スタイルなどの変化を調べ、自分たちの生活がどのように環境に負荷をかけているのかなど考えるため、学習会や昔の生活道具等の展示、体験ブースなどを実施した。

第23回サミットは、生物多様性をテーマとし、平成30年10月28日（日）に予定



# ⑩ながの環境パートナーシップ会議

## 【環境保全温暖化対策課】

11

ながの環境パートナーシップ会議(以下「P会議」という)とは…

市民・事業者・行政の三者が連携協働し、さまざまな環境保全活動を進めていく組織です。

**P会議は、市民・事業者・行政が連携し、長野市環境基本計画を推進するための組織で、平成13年6月に設立、具体的な実行プロジェクトとして、「アジェンダ21ながの-環境行動計画-2018」※に基づき、「長野市環境ビジョン」実現のため、各プロジェクトチームが環境保全活動に取り組んでいます。**

※アジェンダ21とは…

アジェンダ21は、21世紀に向けた持続可能な発展のための人類の行動計画のことです。平成4年、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「地球サミットで「アジェンダ21」は採択され、その後、世界中の地方自治体でも住民参加のもと、地域での行動計画「ローカルアジェンダ」づくりがはじまりました。

【アジェンダ21ながのを実行するP会議】

「アジェンダ21ながの」は、長野市版ローカルアジェンダとして、平成15年に策定されました。その後、環境に関する諸課題が大きく変化してきていることなどからこれまでに3回の改定が行われ、現在は、2030アジェンダ(SDGs)を盛り込んだ「アジェンダ21ながの-環境行動計画-2018」が策定されました。P会議は、アジェンダを実現する組織として各プロジェクトを推進しています。

未来に向かって  
環境共生のまちづくりを  
一緒に進めましょう。

イメージキャラクター

**キラピー**

山の緑も川の水も空の星も  
人の心も、長野市中の環境も  
人も未来もキラキラと輝き、  
生き生きと暮らせるように、  
という願いが込められています。



## 1 各プロジェクトチームの紹介

- ①生態系豊かな水に親しめる川づくり(水環境保全)プロジェクト
- ②生ごみ削減・再生利用プロジェクト
- ③レジ袋使用削減プロジェクト
- ④市民の森づくりプロジェクト
- ⑤太陽エネルギー普及促進プロジェクト
- ⑥聖山自然復元プロジェクト

※①、⑥のプロジェクトは現在活動休止中です。

- ⑦子どもの環境学習支援プロジェクト
- ⑧ながのカーボンオフセットプロジェクト
- ⑨小生物の育成環境保全プロジェクト
- ⑩ぽんすけ育成プロジェクト
- ⑪ゴマシジミ保護・育成プロジェクト
- ⑫田中さくら公園作り&里山づくりプロジェクト(H30.6～)

## 2 総会の開催や各種団体の支援

P会議会員やより多くの団体とのつながりを強化するため、総会の開催及び各種団体の活動(信州大学環境演習・アレチウリ駆除・フードドライブなど)を支援しています。

## 3 主催行事の開催

P会議の活動を広く情報発信するとともに、他団体や事業者相互の交流・協働のきっかけになることを目的に、毎年、主催行事である「ながの環境団体大集合」を開催しています。



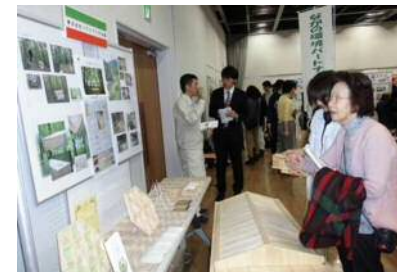
信州大学環境演習  
(各種団体支援)



林業講座



アレチウリ駆除  
(各種団体支援)



ながの環境団体大集合を開催



自然観察会



生ごみ堆肥化  
の啓発活動



太陽エネルギー  
の普及啓発活動



レジ袋使用削減  
の啓発活動